

指導委員会 平成 29 年度

実践山スキースノーシュー研修会

岳グリーン牧場から安達太良山・仙女平

2 月 4 日（日）秋葉、平子、甲高、遠藤（寛）渡辺（敏）その他 8 名

指導委員会主催の実践山スキースノーシュー研修会に石城山岳会から 5 名が参加した。参加者 13 名のうちスキーが 5 名、スノーシューが 8 名であった。天候は冬型が落ち着いて、風も弱く絶好の登山日和となった。以前、同じコースで研修会を計画したが、雪不足で実施できなかったことがあったが、今回は藪が隠れる程度の積雪があったので実施できたが、欲を言えばもう少し積雪があればよかった。今年は日本海側や奥会津地方の積雪が多く、被害の報告もあるくらいであるが、中通地域ではそれほどの積雪ではないようである。

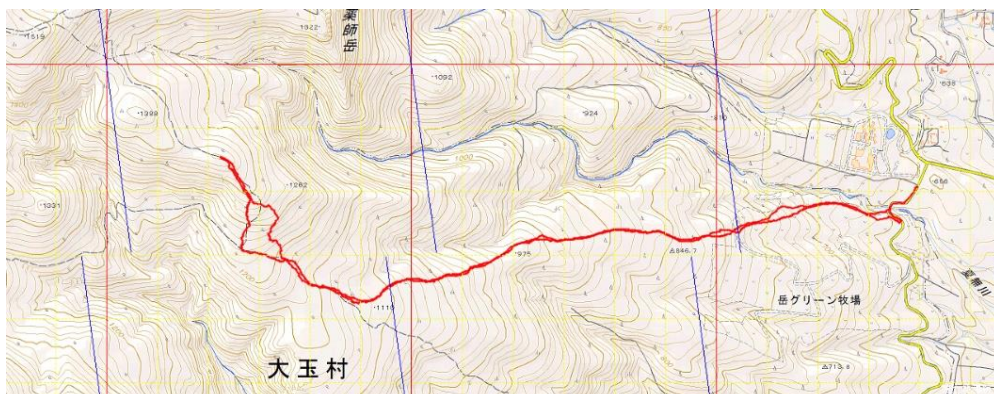


隠れ谷地での集合写真



仙女平先のピークで・スキー隊

コースは岳温泉上の JICA 下のグリーン牧場最終除雪地点から仙女平先のピークまでである。スキー隊が先発して、スノーシュー隊が続いた。スキー隊が最高到達地点に到達してしばらく休憩し、下山に取りかかった。しばらくして天女平上部でスノーシュー隊と合流する。スキー隊は昼食休憩地の隠れ谷地へ先に向かう。そこでみんなでお昼を食べて下山した。



岳グリーン牧場
8:40 → 夏道合流
10:20 → 仙女平
10:37 → 最高到達点
11:00 11:24 → 隠れ谷地 11:44
12:43 → 岳グリーン
牧場登山口 13:25
文責：渡辺敏夫

「会津・烏帽子岳山スキー」

2018年2月6日(火)

山名 会津下郷町と会津美里町にまたがる烏帽子岳

参加者 秋葉、渡辺、馬場、栗崎(透)、栗崎(容) 計5名

山スキーの為にスキー講習(ゲレンデ練習)に何度か参加した後、今回実践の山スキー山行に参加してきました。

この日は、福井県で大雪のため1500台もの車が延々立ち往生……という日で、会津地方も悪天候の予報でしたが、南会津だけはピンポイントで晴れの予報。ということで秋葉さんが選んだ山がこの烏帽子岳でした。(もうひとつの候補だった「二岐山」にも近いうちにぜひ行ってみたいです)

7時に水石トンネル集合、一路南会津へと走ります。あぶくま高原道路を西へと走ると、道路周辺の樹木が、それはそれは美しい霧氷に包まれて、一同見惚れるひと時でした。

大内宿の駐車場手前の分岐を左に折れて進むと、この道の先に水道局の設備があるため、除雪車が除雪中で、除雪の方に声をかけて舗装道をかなり奥まで進むことができました。

予報通りの快晴の空の下、10時に行動開始。



まずは除雪車がラッセルした跡を進み、そのあとは西に向かって樹林の中を進みます。

一度、沢のスノーブリッジを沢の右岸へ渡り、その後はその沢と近づいたり少し離れたりをしながら徐々に登っていきます。栗崎2人は、まだシール歩きが慣れないことに加え、ほんの少しの急な斜面にも難儀して時間がかかります。とはいえこの日のこの山は、色濃い青空広がる良い天気。生クリームのようにとろけそうな雪面も、芸術的に雪を乗せた木々の姿も本当に美しく、気分はサイコーです。

そして、沢沿いを離れて H1,028m ピークの裾をトラバースしながら進み、1時間ほど歩いた地点で休憩。

その後さらにトラバースしながら進んだ後、烏帽子岳山頂へと続く尾根に乗りました。両端切れ落ちているような尾根ではないですがやや細尾根で、小さな雪庇を作りながら左右にうねる姿は大白蛇の背のよう。木々がすべて葉を落としているからこそ見える、冬だけの景色を堪能しながら15分ほど進むと尾根が広くなり、12.15、烏帽子岳山頂に到着。(当然、先輩三氏はもっともっと早くに到着しています)



手早く作っていただいた雪のイスとテーブルでランチタイム。40分ほどいたでしょうか。

そして、いよいよシールを外して滑降です。基本的にはほとんどブルークで滑ったと思います。細い尾根は、細いというだけで「左右の斜面に落ちたら?！」という気持ちが恐怖心となり、さらに超ブルークでした。新雪滑りの難しさも実感しました。

それでも、人の手の入っていない山を、木々の間を縫って滑り降りるのはとても楽しい経験でした。途中、木々が切れて那須の山々や二岐山の姿も見え、次の山への楽しみも。



軌跡の通り、8割ほどは登ってきた道を滑り降り、14:53に車に帰着しました。

登りも滑降もまだまだ時間のかかる我々を気長に待っていていただき、色々お手ほどき頂いた先輩各氏に感謝いたします。そしてまた、よろしくお願いいたします。

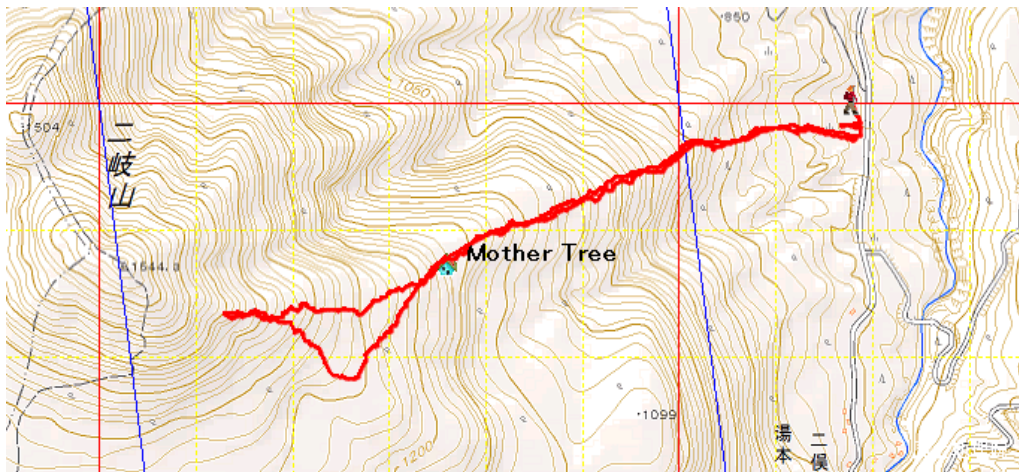
(文責 栗崎容子)



二岐山 1544m

2月9日（金）秋葉、渡辺（敏）

天候が悪くなる前日の、ちょうど全国的に好天に恵まれた冬晴れの穏やかな日に、秋葉さんから誘いがあり二岐山に山スキーに出かけた。登山道は二岐温泉の先の林道をしばらく進んだ所にあるが、積雪期の今は二岐温泉手前の林道脇から、直接二岐山にコースをとることができる。適当な傾斜で気持ちよく登れる。中腹から1400mくらいまでは見事なブナ林が広がっている。その中でも大きさ、姿、形が素晴らしいブナの巨木がある。頂上直下は針葉樹林帯の急傾斜となるので、その手前の1400m地点で折り返した。登り2時間、下り30分の楽しい山スキーでした。



登山口 9:04→マザーツリー 10:22 10:34→最高到達点（1400m） 11:07 11:26→マザーツリー
11:36 11:57→登山口 12:12

文責：渡辺敏夫

川上溪谷～湯ノ岳（594m）

2018年2月18日

秋葉信夫、他9名

川上溪谷は久しぶりでこの時期に入るのは初めてなので、夢想山の会の2月々例山行に便乗参加しました。

毎年行われている「湯ノ岳お山かけ」のコースだけあって、梯子が掛けられたり、橋が渡されたり、ロープが張られたりと、良く手入れされた登山道で気持ちよく歩くことができました。藤原山の会の皆さんありがとうございます。

第4の木戸「御前滝」と第5の木戸「毘沙門滝」は氷瀑していました。いわきで氷瀑が見られるなんて感激です。

この時期に入るのは私たち位かなと思っていましたが、20名くらいの人が入っていて、いわきの山も知られてきていることを嬉しく思いました。皆さんも是非出かけてみてください。

夢想山の会の冬は「鍋山行」。山行は午前中で終了したので、例によって登山口で鍋を楽しみました



いわきの気になる山（５） 明神石 860m

2018年1月4日

秋葉信夫



今年の登り始めは明神石。山名が地形図に載っていないため正確な位置が分からず、「旧田人村小史」や「三角点一覧」を調べて「明神石」という三等三角点があることが分かり、4回目でやっと辿り着いた。

明神石は国道289号線の西側、朝日山、上三峰山、明神石、仏具山と続く山波にあり、四時川と横川に挟まれたピークであるが特徴がなく分かりにくい。

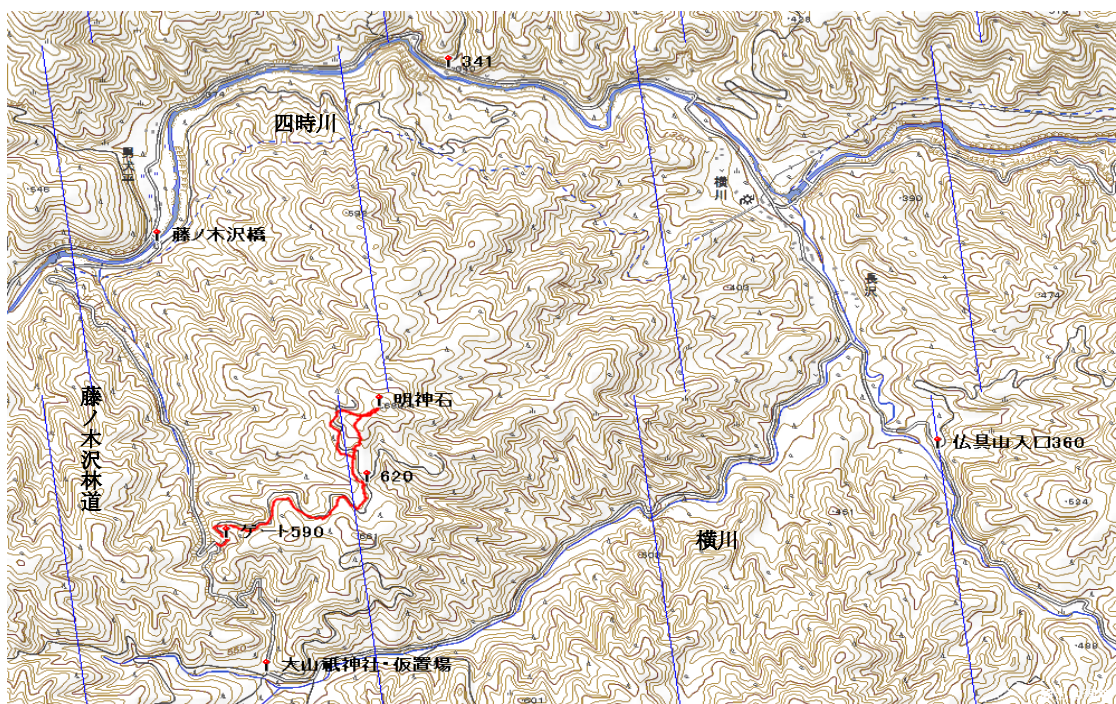
横川ダムから横川林道に入り、左側の仏具山方向には行かず直進する。左側に仮置き場、右に大山祇神社のあるT字路を右の藤ノ木沢林道に入る。峠を越え少し下るとゲートのある林道がある。道路わきに駐車し歩き始める。立派な林道が620mの分岐まで続いている。藪になっている左側の林道に入り適当なところから頂上に向かう。



頂上には巨石が鎮座していてその巨石を見たいという思いであったが、予想に反してして樹林の中にいくつかの石があるだけであった。展望も良いとは言えないが、木々の間から仏具山、大丸山、上三峰山を望むことができる。

登り約40分、下り約30分と少し物足りないが、静かな里山を味わうことができ、宿題をやり終えたようなさっぱりした気持ちです。

朝起きると右膝に痛みがあり、このまま歩けなくなるのではとの恐怖心が湧いてくる。心配なのでダブルストックを使いクリアー、一時的な痛みで一安心。帰りは藤ノ木沢橋を渡り四時川林道に出る。



いわきの気になる山（6）焼倉 741m、三峰山 659m

2018年1月10日

秋葉信夫

いわきの観光案内地図には明神山と県道勿来・浅川線を挟んで対峙している山、焼倉 741m、権現山 659m、大曾根山 567m の三座が記載されている。2万5千分の一の地形図に山名は記載されていないので分かりにくい、それらしい所をめがけて軽トラで出かけた。

明神山登山口を過ぎ、近くの工場で道を聞く。508mから山道に入る。632m の分岐までは車で入れた。



藪の中の道を進むと廃車があったり、廃屋があり、牛頭観音の石碑には昭和53年とあるのでそのころまでは牧場だったのだろう。672mからは背丈を越す猛烈な竹やぶで、真っ直ぐに進めない。ところどころに、碍子の着いた杭がありかつては放牧地であったことが伺われる。ようやく三等三角点の頂上に着くが展望はない。帰りも同じく藪であった。往復約1時間半。

権現山に向くべく 632m 林道分岐から 637m の林道終点を車でめざす。山の持ち主という人がいたので話を伺うと、この上に三角点はあるが、ここは権現山でなく三峰山であるという。権現山は違うところだという。とにかく頂上に行ってみると四等三角点であった。三角点名は「中居 658.47m」である。

持ち主が言うのだから間違いはないだろう。それでは権現山はどこなのであろう。往復約20分。

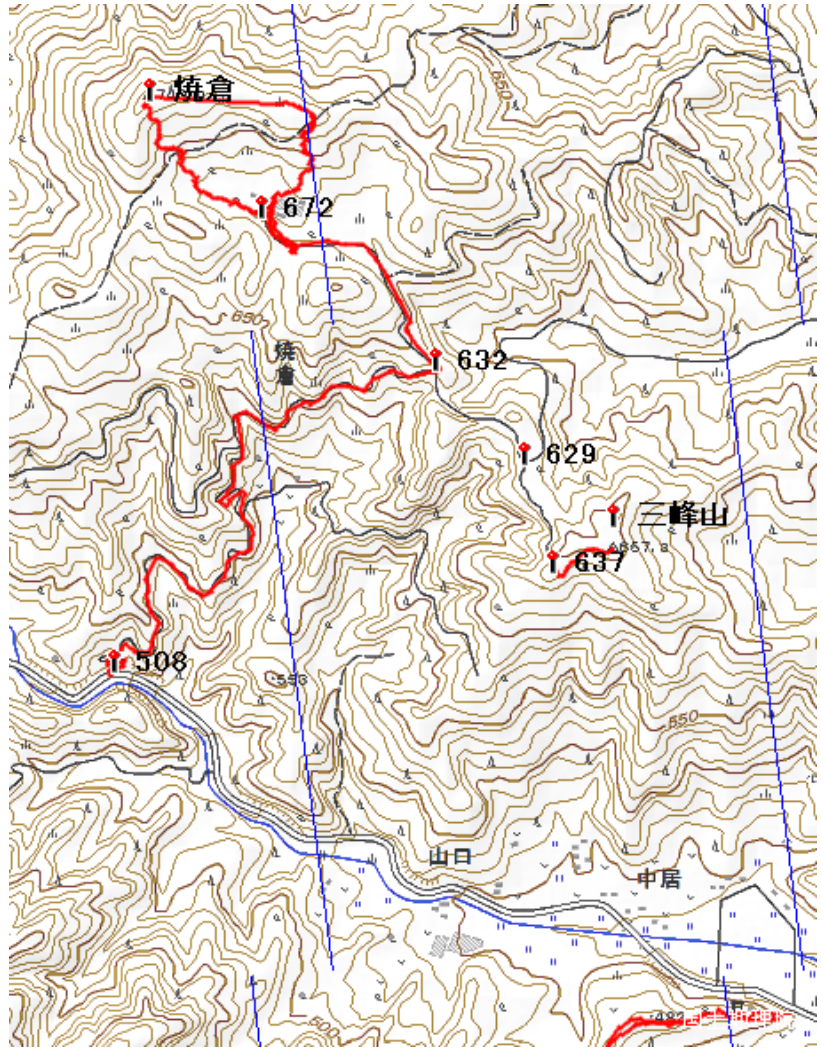




その他に、「旧田人村小史」に書いてある分からない山があるので、帰りに田人公民館に寄り訪ねると、観光地図も何を基に作成されたのかもわからず、それが正しいとは限らない。

「旧田人村小史」に書いてある山も筆者に聞かないと分からない。筆者もいなくなったり、山仕事をする人も少なくなったので分かる人がいなくなっている。とのこと。調べてもらうことを依頼する。後日、権現山の別名が三峰山と判明。

(文責・秋葉)



いわきの気になる山（7）

大曾根山 567m・不明峰 544m

2018年1月11日

秋葉信夫、下山田

8時半に田人支所に集合し軽トラで出かける。間明沢を過ぎ419mの林道へ入る。一面が伐採がされ広々とした光景だ。作業道が入っているので適当なところを選んで進む。頂上は三等三角点（点名：風越）、藪になっているがその周辺は伐採され広々とした光景が広がる。仏具山～明神石～上三峰山～高ボッチ～朝日山と今まで歩いた山波。そして、昨日歩いた焼倉、三峰山。ランドマークの明神山が尖がってひときわ目立っている。





地図と合わせて山座同定をする。
昨日歩いた焼倉、三峰山ははっきり分かる。すると、権現山はどれだろうか？

実際の地形と地図を合わせ見て、
権現山と言えるのは 544m ピーク以外にない。それではそこまで行っ

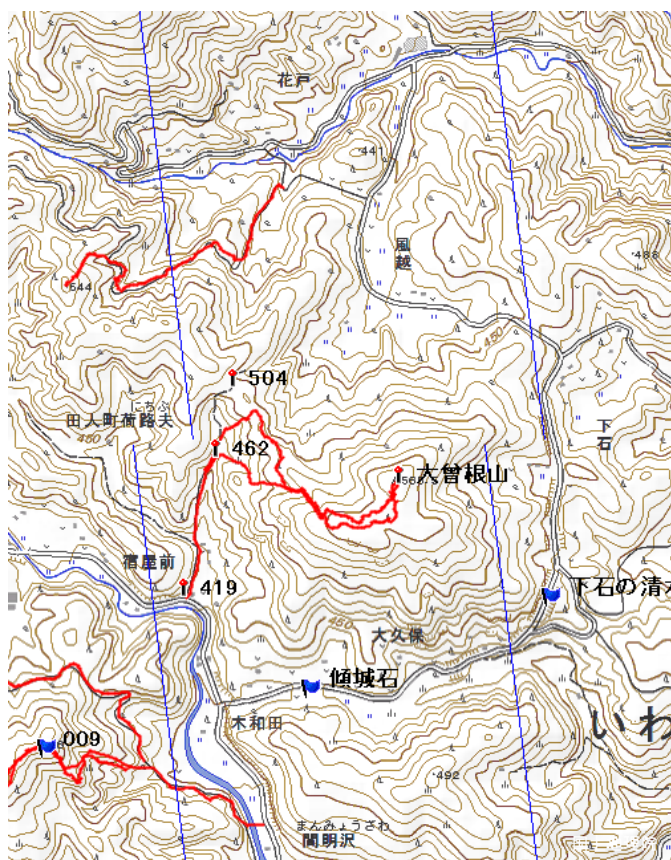
てみよう。往復約 90 分。

風越に移動し、鎌と鉋で藪をかき分け作業道跡を歩き、544m ピークに、植林された林の中で展望はない。山名は分からないので、山名がはっきりしたら付け替えるとも、とりあえず「544m 峰」の案内板を取り付けきた。往復約 1 時間。



田人の山は、藪山歩きだが満足感と何かすがすがしい気持ちにさせられるのは「何でかな～？」

(文責：秋葉)

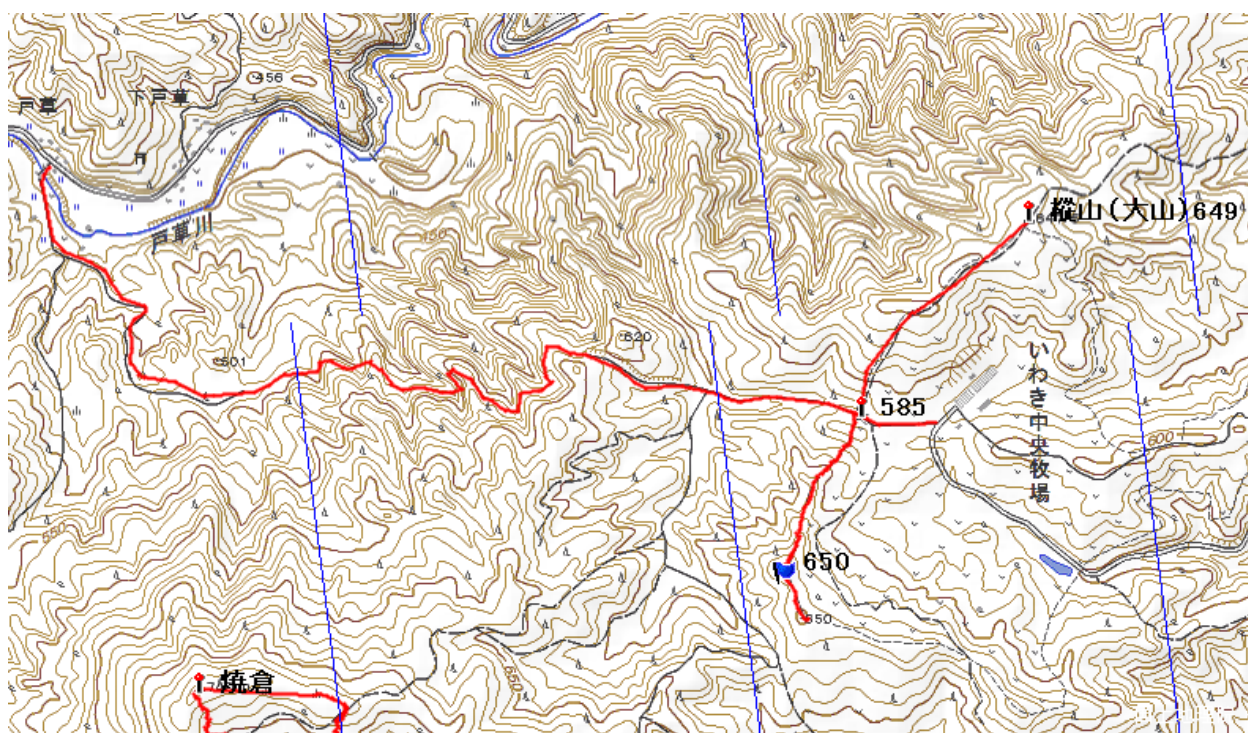
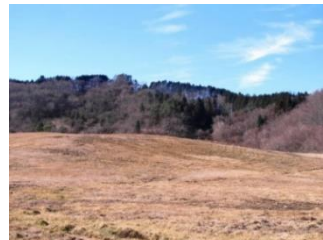


いわきの気になる山（８） 貝泊、戸草地区を囲む山

2018年1月12日 秋葉信夫、

「旧田人村小史」によると貝泊、戸草地区は北側を三株山（842m）から続く峰々と中沢山（652m）山塊を背に負い、南側を猿の内（779m）、焼倉山（741m）、縦山（649m）と連続する山並みに遮られ、西側を朝日山（797m）に続く山塊に閉ざされ、東は大山（438m）に続き山々に隔てられてその東斜面が鮫川に落ち込む峡谷となって、正に四周囲山々に囲まれている。小株山（705m）と中沢山の間に小松川や戸草川の上流域沿いを切り開いた地域です。

縦山（649m）、650m 峰



両山ともいわき中央牧場の裏山である。田人町下黒田の「ながせ食堂」の後ろから明下方面に入り、橋を渡って右の道・新田方向に進むといわき中央牧場、左側に行くと 585m地点に朽ちた案内板の鉄枠が立っている。



650m峰には南に境界見出しの土塁に沿って行く。頂上には図根三角点があり、三株山からの稜線が見える、その向こうには那須、磐梯山、安達太良が白銀に輝いている。

頂上から少し進むと東～南の展望が広がり、太平洋が煌めき、仏具山、明神石、高ボッチ、朝日山の山並みが一望できる。往復約 50 分。

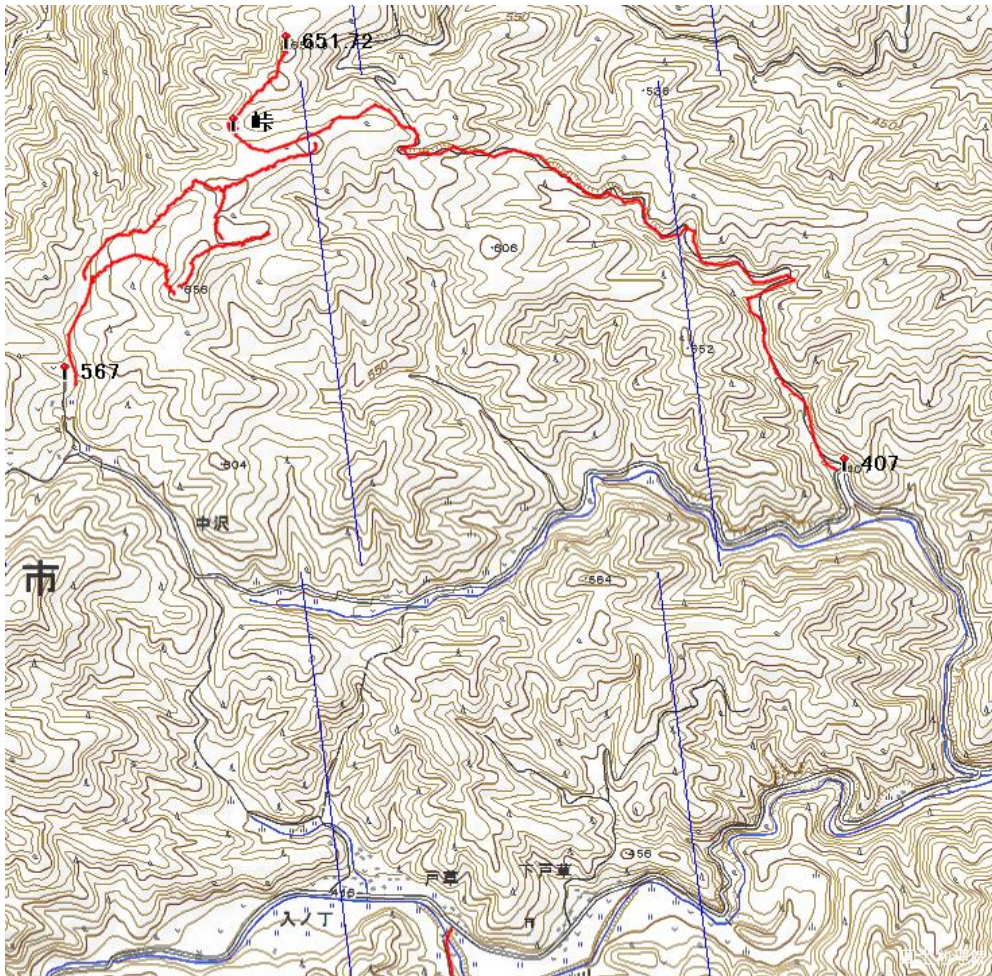




縦山には北側の境界見出線、牧場境界に沿って行く。頂上は三等三角点（点名：大山）、樹木に囲まれ木々の間からではあるが縦山と同様な展望が得られる。前述した大山（438m）とは別の山、ここから稜線を辿って下ると前述した大山（438m）に続いている。往復約 50 分。



中沢山（652m）



この山を同定するのは地図上でも、縦山からの目視でも難しいが、それらしいところに行ってみることにする。いわき中央牧場から戸草までの道は地形図には載っていないが、狭いが舗装されています。

戸草から中沢に向かう途中で軽トラの方に中沢山の頂上を訪ねると。この辺一帯が中沢山でどこが頂上かと言われても分からないとのこと。

中沢の最終民家を過ぎ軽トラで入れる

ところまで行き、956m ピークを目指して作業道跡を歩き始める。結構な藪である。

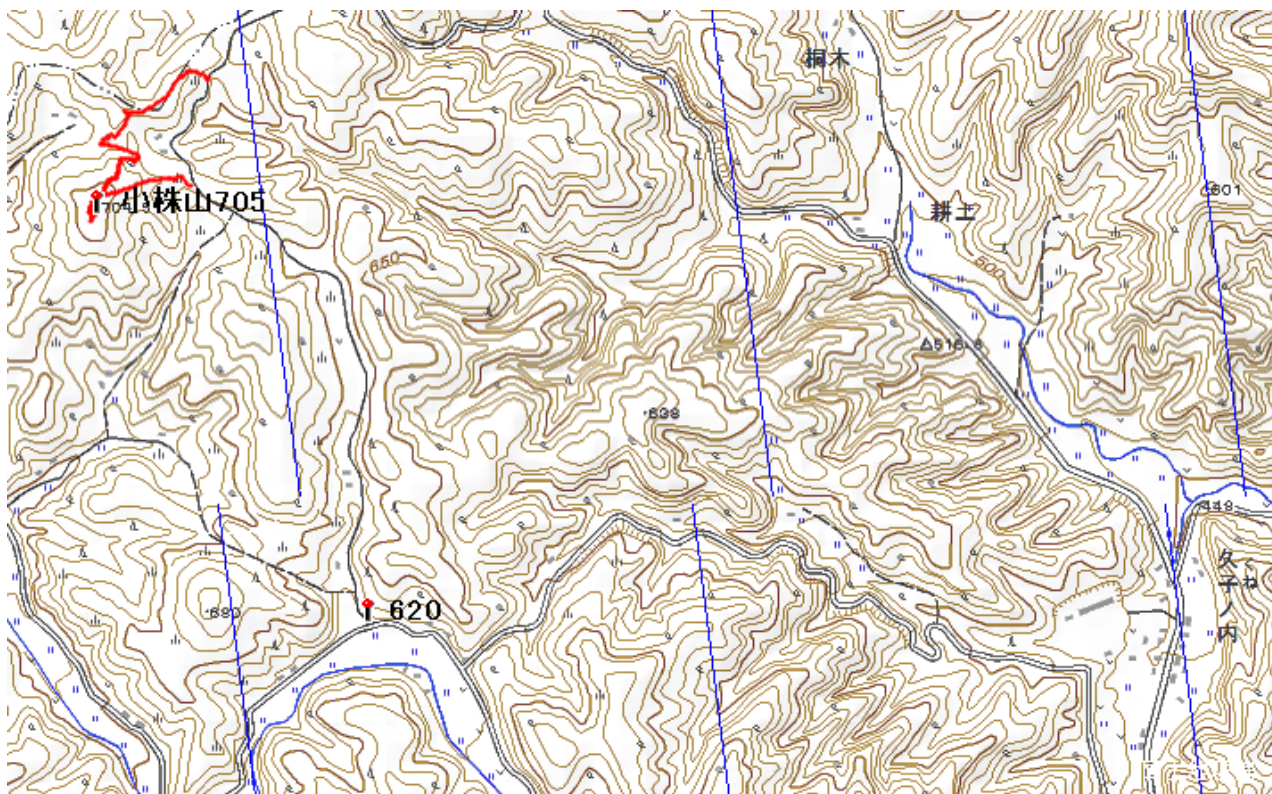
緩やかな幅広い稜線でどこがピークが分からない。広々とした明るい雑木林で気持ちの良い所なので、それらしい出っ張りを求めて歩くが、先ほどの地元の方が話していた通りで分からない。しかし、この北の三角点かも知れないので後日確認したいと思う。往復 70 分。



1 月 18 日にこの北の三角点に出かけてみた。戸草林道才道分線が入っており、車で峠まで行くことができた。そこから藪漕ぎ 10 分ほどで頂上に着いた。三角点一覧で調べると三等三角点（点名：貝泊）標高 651.72m で高さも合う。ここが中沢山に違いない。往復 20 分。



小株山 (705m)



貝泊から井出方向に行き、途中から三株山方面に向かう。適当な所から取り付くがやがて藪となり苦労する。頂上に着いたが背丈を越す竹藪で三角点（三等）が中々見つからない。最終民家の手前、右にカーブする所に大きなブナの作業道跡が入るのが良い。往復 50 分。

